

3/17 (火) 高校女子サッカー日本一

1月に行われた全日本高校女子サッカー選手権大会で全国優勝を果たし、静岡県代表の藤枝順心高校のメンバーとして出場した本市出身の宮本 仁奈さんが市長を表敬訪問しました。宮本さんは、幼稚園からサッカーを始め、栃木SCレディースU-15などの強豪クラブチームに所属し、中学卒業後は藤枝順心高校に進学しサッカーを続けています。宮本さんは「今年度もインターハイ優勝、全国大会2連覇を目指し練習に励み、応援してくれる方たちにより結果を報告したい」とこれからの意気込みを話してくれました。



3/22 (日) 地域の安全を守るために

木幡東行政区公民館で、おそろいのベストと帽子に身を包んだ隊員10人が参加し、防犯パトロール隊の結成式が行われました。不審者から子どもたちを守ることを目的に毎週木曜日の登下校の時間帯を中心に青色回転灯を付けた軽トラックで通学路の見守りを行うほか、高齢者の見守りなども積極的に行い地域の安全な暮らしを守るための活動を行います。隊員でもある高田区長は「私たちの活動が抑止力となり安全なまちが保たれ、そして市内全体の防犯意識が高まってくればうれしい」と話してくれました。



サクラ咲き春の訪れを告げる

今年も市内各所でサクラの花が満開となり、春の訪れを感じさせてくれました。それぞれの場所では、サクラを眺めながら散歩をする方や美しく咲いたサクラを写真に収める方など、春のひと時を過ごす姿が見られました。また、矢板武記念館や妙道寺、長峰公園では毎年恒例となっているライトアップが行われ、昼夜を通して多くの方の目を楽しませてくれました。

長峰公園で写真を撮影していた方は「この季節は色とりどりの花が咲いていて毎年訪れるのを楽しみにしている。今日は天気も良く、良い写真が撮れた」と話してくれました。



3/25 (水) 宇大と連携協定締結

宇都宮大学で、相互友好連携協定の調印式が行われました。この協定は、市と大学の資源と研究成果の活用を図り、地域振興や人材育成、気候変動への適応策などさまざまな分野で連携することを目的とするものです。調印にあたり市長からは「市の事業において共同研究や学生の実習受入れなど、すでにさまざまな連携が生まれている。農業分野における研究成果の実証や気候変動への適応策に取り組むなど、これまでの関係をさらに発展させていきたい」と話されました。



▲(左から)
・齋藤市長
・石田学長

4/8 (水) マスクで予防しよう!

生涯学習館で、JAしおのやから市内小学生全員分のマスク1,400枚が贈呈されました。このマスクは、子どもたちを新型コロナウイルス感染症から守りたいとの思いから、JAしおのや女性会の大野会長をはじめメンバー約50人が1つ1つ手作りしてくれたもので、子どもたちに似合うかわいらしい柄で作られています。黒崎常務からは「心を込めて作りました。マスクを使っていっそうの予防につなげ、コロナウイルスに打ち勝ちましょう」との話がありました。



▲(左から)
【矢板市】
小瀬教育部長
村上教育長
【JAしおのや】
大野女性会会長
黒崎常務

4/4 (土) 決意新たに活動に臨む

矢板公民館で、市消防団の辞令交付式が行われ幹部職員20人が出席しました。4月から18人の新入団員を迎え、本部分団および5分団22部368人の新体制がスタートしました。市長から大貫団長に辞令が交付された後、大貫団長から幹部団員に辞令の交付と訓示がありました。市長は「想定外、未知の自然災害の発生が高まる中、消防団の果たす役割は、より一層増している。地域防災のリーダーとしてだけでなく、地域社会の欠かせない担い手として活動していただきたい」と話されました。



▲市長から辞令を受け取る
大貫団長

4/13 (月) 齋藤市政2期目へ

任期満了に伴う矢板市長選挙が4月12日(日)に市内20カ所の投票所で行われました。2期目の当選を果たした齋藤 淳一郎氏に翌13日(月)、市選挙管理委員長から当選証書が付与されました。

●矢板市長選挙投票率

	男	女	合計
当日有権者数(人)	13,245	13,721	26,966
投票者総数(人)	7,597	8,146	15,743
投票率(%)	57.36	59.37	58.38



▲新型コロナウイルス感染症対策として全員がマスク着用。